



発 行 所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



菜の花畑（高松市牟礼町）

目 次

1. 農林水産委員会委員の玉木雄一郎衆議院議員が
県内の農業農村整備事業を視察2~3
2. 本会第 148 回理事会開催4
3. 災害復旧技術向上のための講習会開催5
4. 平成22年度香川県土地改良換地士部会開催5
5. 第 11 回新世紀むらづくり研修会開催6
6. 第 10 回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト入賞者決定7~8
7. 本会大川支所並びに中部支所と香川県東讃土地改良事務所移転のお知らせ9
8. 通常総会のお知らせ／会と催し10

農林水産委員会委員の玉木雄一郎衆議院議員が

山肌に薄っすらと雪が残る 2 月 13 日の日曜日、玉木雄一郎衆議院議員が県内で実施中の農業農村整備事業の現地視察を行った。この視察は本会大山茂樹会長を始めとする土地改良区等農業関係者の付託に（※）農林水産委員会委員の玉木議員が答えたものである。

冒頭、大山会長が県内の農業農村整備事業の現状並びに農業水利施設の整備状況と施設を管理する土地改良区の果たす役割や農業農村の重要性について玉木議員に説明した後、さぬき市大川町の国営造成土地改良施設整備事業「香川用水地区」の東部幹線揚水機場整備工事、さぬき市寒川町の県営中山間地域総合整備事業「さぬき南部地区」の鳥獣侵入防止柵設置工事、高松市成合町の県営基幹水利施設ストックマネジメント事業「香東川沿岸地区」の鶴尾幹線水路補修工事、綾歌郡綾川町の県営ため池等整備事業（再編総合整備型）「大桑地区」の経田池補強工事の 4 事業を視察した。



左から、十川大川地区土地改良協議会長、大山会長
組橋副会長、玉木議員



（※）農林水産委員会とは、国会の常任委員会の一つで、農業、林業、水産業などを論議する委員会。
委員長は山田正彦前農林水産大臣が務めている。

各工事現場では、香川県農政水産部の事業担当者や土地改良区理事長が玉木議員に事業の実施状況を伝えると共に、本県が抱える農業問題を訴え改善に向けての善処をお願いした。



香川用水地区東部幹線揚水機場にて

県内の農業農村整備事業を視察

さぬき南部地区鳥獣侵入防止柵設置現場にて



香東川沿岸地区鶴尾幹線水路にて



大桑地区経田池にて



西方の山々に夕日が傾きかけた午後 4 時半、玉木議員は綾川町で最後の視察を終え、随行者にお礼の謝辞と香川の農業の再編を約束され、次の用務に出発された。

本 会 第 148 回 理 事 会 開 催

◇◇◇◇◇第 53 回通常総会 3 月 28 日午前 10 時開催決定◇◇◇◇◇

本会の第 148 回理事会が 3 月 7 日、来賓に香川県農政水産部西原部長、土地改良課高尾課長、農村整備課飯間課長を迎え開催された。

冒頭、大山会長の挨拶で、来賓並びに出席者に対する謝辞の後、最近の農業を取り巻く厳しい状況や T P P 参加について触れ「政府は、地方で一生懸命農業をしながら、これまで地域を支えて来た農民



が、泣きを見ることがないように十分注意を払う必要がある。そして、我々土地改良事業団体連合会も出来得ることを決して逃げることなく前向きに取り組むとともに、政府に対しては慎重な対応をこれまで以上に求めている」と述べた。

来賓挨拶では、西原部長から、本会の日頃の農業農村整備事業の推進や県政各般にわたる協力に対するお礼の後、平成 23 年度から新たに実施される**戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業、農地・水保全管理支払交付金**、更には**地域自主戦略交付金**について、制度や仕組みを説明され、国の予算が激減しているうえ県の財政事情も厳しいが、地域と産業を守っていく農業の基盤となる土地改良の施設等を整備する事業は重要であり、安全、安心という観点からもため池や水路整備を重点にすべきと考えている。

そのため、関係者とときめ細かな対応をとりながら事業を実施するので、協力と支援を願いたいと述べられた。

続いて行われた議事では、大山会長が議長となり第 1 号議案から第 10 号議案まで審議され、いずれも原案通り承認可決された。

- | | |
|----------|---|
| 第 1 号議案 | 平成 21 年度事業報告及び一般会計・特別会計収支決算並びに財産目録の承認について |
| 第 2 号議案 | 平成 22 年度一般会計収支補正予算の理事会専決処分の承認について |
| 第 3 号議案 | 受託業務規程の一部改正について |
| 第 4 号議案 | 平成 23 年度事業計画並びに一般会計及び特別会計収支予算について |
| 第 5 号議案 | 平成 23 年度賦課金の賦課基準並びに賦課徴収の時期及び方法について |
| 第 6 号議案 | 一時借入金の借入先及び借入限度額について |
| 第 7 号議案 | 平成 23 年度役員報酬について |
| 第 8 号議案 | 預託金融機関の決定について |
| 第 9 号議案 | 役員の改選について |
| 第 10 号議案 | 総会の開催について |

災害復旧技術向上のための講習会開催

3 月 1 日、香川県庁北館 3 階人材育成研修室において、災害復旧技術向上のための講習会が開催された。

最初に、香川県農村災害支援協議会の高尾会長より「この制度は各都道府県に農村災害支援協議会を設置し、防災・災害対応指導ネットワークの構築を図りボランティアによる災害復旧支援を行えるようにしたい」との挨拶があった。続いて、講習会に移り講師の中国四国農政局整備部防災課の古谷査定官外 2 名の方より農村災害復旧技術者制度及び農地・農業用災害復旧の概要・復旧工法等について講習を受けた。

なお、平成 22 年度の講習会の受講者は 36 名で、うち認定希望者は 3 名であった。



平成 22 年度香川県土地改良換地士部会開催

去る 3 月 4 日、本会会議室において平成 22 年度香川県土地改良換地士部会が開催された。この会は、水土保持強化対策事業の一環として、土地改良事業における換地に関する情報交換を行い、換地事務処理能力の向上を図り、適正、かつ能率的に換地事務を遂行することを目的に本会が毎年実施している。

現在県内には、40 名の換地士が在籍するが、そのうちの 28 名の参加希望者によってこの会は構成されており、今年度は 12 名が参加した。

冒頭、好森会長の挨拶があり、続いて下記議題について活発に検討、意見交換がなされた。



- (1) 平成 22 年度換地処分事務量及び処理状況について
- (2) 平成 22 年度土地改良換地関係訴訟検討会の報告
- (3) 平成 22 年度換地事務指導者研修会及び異議紛争処理対策検討会の報告
- (4) 農地利用集積推進対策について
- (5) 換地士部会の開催時期について

第 11 回 新世紀むらづくり研修会開催 ～ 農村地域の活性化への挑戦～

3 月 3 日、高松市番町の高松商工会議所 2 階大ホールにおいて、第 11 回新世紀むらづくり研修会を開催した。

わが国の農業・農村は、安全安心な食料の供給はもとより、国土保全・水資源の確保・環境保全・農村文化の伝承等多岐にわたり多面的機能を発揮している。しかしながら、近年、農業従事者の高齢化、後継者不足や農業収入の減少による離農などにより、耕作放棄地が増加の一途をたどるなど、先人が培ってきた健全な農業・農村が危惧される状況にある。そこで今回、

農村振興総合整備推進事業の一環として、多面的機能を有する我が国の農業農村への理解を深め、農業生産物の生産から加工・販売までの 6 次産業化の取組みなどにより、地域の農業を守るとともに、地域リーダーを育成し活力ある農村地域の活性化を促すための一助となることを目的に研修会を開催した。

開会にあたり、主催者を代表して本会山地常務理事から会員の皆様へ、日頃の農業農村整備事業への取組みに対するお礼と耕作放棄地増がもたらす様々な問題点を指摘するとともに、食料自給率向上のためには、生産基盤の強化、各施設の長寿命化対策が不可欠であると強調され、関係者一丸となって健全な形で後世に引き継ぐよう協力要請等の挨拶があった。

続いて、香川県農政水産部農村整備課の飯間課長から、「今後の農業農村整備の動向」について、近年、高齢化・後継者不足に加え公共予算も激減する中、5～10 年先は不透明ではあるが、地方の時代とも言われており、非農家も含めた人と人とのネットワークを密にして、最小の経費で最大の効果を発揮し、今ある農地・施設を守っていただくよう私見を踏まえながらの貴重な提言を頂いた。

続いて、アットヒューマンコンサルティング代表の合田準先生から「農村地域の活性化におけるリーダーの役割」と題して、講演を頂いた。

先生は、良いリーダーの条件として、仕事ができる才能のある人、さらに、部下に公平で人間的魅力に満ちた人徳のある人の両方を兼備していなければならないと強調された。

また、2700 年前（日本の縄文時代）の中国の諺である「刻舟求劍」（舟で航行中誤って劍を川に落とした。落とした場所をここであるとし舟に刻みを入れた。後で、劍を探すために舟の刻みの下を一生懸命に探したが劍は見つからなかった。・・・川の流れのごとく時代は変遷しているのに旧態依然と仕事をしていると時代に取り残されるという意。）を例にリーダーは常に変化に対応したビジョンを描きながら行動していかなければいけないと指導された。

最後に、ヤマサン醤油株式会社 5 代目社長の塩田洋介先生に「耕作放棄地再生による特産オリーブ栽培で 6 次産業への挑戦」と題して貴重な講演を頂いた。

老舗の醤油造りでは、丹波・丹後地方産の黒大豆にこだわり、小豆島の伝統ある優れた醸造技術で造りあげたこだわり醤油と、平成 15 年には、「小豆島内海町オリーブ振興特区」1 号の指定を受け、オリーブを栽培から加工販売まで手がける古くて新しい企業でもある。また、小豆島の発祥から今日までの歴史にも触れながら、醤油、オリーブ等を基幹にした観光産業をメインに今後の小豆島の定住促進の橋掛けにも繋げたいと自らのビジョンも講演された。

今回の研修は、275 名の参加があり盛会裏に研修会を終焉することが出来た。



第 10 回 かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト 入賞者決定

香川のふるさとをテーマに香川県が平成 12 年度から実施している「かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト」の入賞作品が決定した。

このコンテストは、写真を通じて県内の伝統文化や豊かな自然を再発見してもらおうと実施しているもので、本年度は 230 点の応募の中から最優秀賞には、三豊市の石角尚義氏が撮影した「レタス畑」が、優秀賞には砂川朝雄氏（さぬき市）の「棚田の朝」、花 一彦氏（岡山市）の「虫送の日」、松尾正信氏（東かがわ市）の「田植の頃」、真鍋幸江氏（観音寺市）の「田圃の番人」の 4 点が、また香川県農業協同組合中央会長賞には細川美恵子氏（宇多津町）の「後継者になれるかなあ」が、香川県土地改良事業団体連合会長賞には児嶋 修氏（東かがわ市）の「夕暮時草を刈る人」が選ばれた。このほか入選 5 点、佳作 10 点がそれぞれ決定した。

最優秀賞作品は、ビニールに覆われたレタス畑でレタスを収穫している風景を撮影したもので、シンプルな画面に色のアクセントと自転車のスピード感が表現されていて素晴らしいと評価された。

この入賞作品は 4 月 18 日から県庁東館 1 階ギャラリーで展示されることになっている。

最優秀賞



「レタス畑」 石角 尚義

香川県農業協同組合中央会長賞



「後継者になれるかなあ」 細川 美恵子

香川県土地改良事業団体連合会長賞



「夕暮時草を刈る人」 児嶋 修

優 秀 賞



「棚田の朝」 砂川 朝雄



「虫送の日」 花 一彦



「田植の頃」 松尾 正信



「田圃の番人」 真鍋 幸江

お 知 ら せ

本会大川支所ならびに中部支所が移転します。

本会大川支所ならびに中部支所は、平成 23 年 4 月 1 日より下記に移転して業務を開始しますので、お知らせ致します。

記

- ◆ 移転先住所：☎760-0017
高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号
香川用水記念会館 3 階
- ◆ 電 話 番 号：大川支所 087-813-3009
中部支所 087-813-3006
- ◆ F A X 番 号：087-851-1787
- ◆ 業務開始日：平成 23 年 4 月 1 日（金）



香川県東讃土地改良事務所が移転します。

県高松土木事務所 1 階へ

香川県東讃土地改良事務所は、農作物を生産するための基盤となる水路やため池、農村の生活環境の整備に努めています。

庁舎の老朽化の進行に伴い、4 月 1 日に現在の高松市仏生山町から、多肥上町の県高松土木事務所 1 階に移転します。この移転で、業務の効率化とより一層の県民サービス向上を図ります。

香川県東讃土地改良事務所

高松市多肥上町 1251-1
(県高松土木事務所 1 階)

問 い 合 わ せ 先

香川県東讃土地改良事務所
総務課：電話 087-889-0191
指導課：電話 087-889-0194
事業第 1 課：電話 087-889-0192
事業第 2 課：電話 087-889-0193



通常総会のお知らせ

本会の第 53 回通常総会並びに第 50 回土地改良功労者表彰式を下記により開催いたします。

記

1. 日 時 平成 23 年 3 月 28 日（月）午前 10 時

2. 場 所 高松市西の丸町 14-7

ホテルニューフロンティア



会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
2 月 14 日	大川地区土地改良協議会第 22 回役員会	さぬき市
〃	大川地区土地改良協議会第 53 回通常総会	さぬき市
17 日	農業者戸別所得補償制度に係る説明会	丸 亀 市
18 日	三豊市担い手育成総合支援協議会幹事会	三 豊 市
〃	綾川町担い手育成総合支援協議会幹事会	綾 川 町
22 日	香川県農業会議常任議員会議	高 松 市
〃	平成 22 年度農業農村整備技術強化対策事業第 2 回ブロック研修協議会	岡 山 市
28 日	平成 22 年度第 3 回監事会	高 松 市
〃	高松市土地改良区連合会平成 22 年度理事長会	高 松 市
3 月 1 日	平成 22 年度災害復旧技術向上のための講習会	高 松 市
〃	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東 京 都
3 日	第 11 回新世紀むらづくり研修会	高 松 市
〃	仲多度土地改良事業推進協議会平成 23 年度通常総会	琴 平 町
〃	平成 22 年度農村防災・災害対応指導体制強化事業普及定着説明会	岡 山 市
4 日	小豆郡土地改良事業推進協議会平成 22 年度通常総会・土地改良相談	小豆島町
〃	中部地区土地改良協議会平成 23 年度通常総会	高 松 市
〃	平成 22 年度香川県土地改良換地士部会	高 松 市
7 日	第 148 回理事会	高 松 市
〃	香川県農地保有合理化緊急売買促進事業対策会議	高 松 市
8 日	中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議	徳 島 市
9 日	平成 22 年度観音寺市地域担い手育成総合支援協議会臨時幹事会	観音寺市
10 日	平成 22 年度農業集落排水事業担当者会	高 松 市